

# 令和7年度事業計画

## I 基本方針

我が国では、人口の減少や少子高齢化が進展し、労働力人口の減少など様々な問題を抱えています。

このような中、高齢者による現役世代の下支えや地域社会の担い手として、シルバー人材センターへの期待は、ますます大きなものとなっています。

一方で、定年延長やコロナ禍等の影響により全国的にも会員数が下げ止まらない状況にあるため、会員拡大を核に据えることが重要とされています。これを受け、引き続き女性会員の拡大、退会抑制、関連機関と連携し退職予定者や求職者等への働きかけを強化してまいります。

また、会員の拡大と就業の場の確保は、両輪の関係であることから、会員の就業ニーズをつかみ、派遣事業や高年齢になっても活躍できる就業の場を確保することが重要となります。

請負・委任事業においては、新たな契約方式への円滑な移行を進めていくとともに、会員が就業やセンター情報等を速やかに取得することができるよう、会員向け専用サイト“Smile to Smile”の登録者の更なる増加を図ります。

併せて、会員の高年齢化や重篤事故の発生状況を踏まえ、“安全はすべてに優先する”ことを会員一人ひとりが再認識することが重要です。「安全のしおり」を常用し、作業別安全就業基準を遵守することなど安全就業の徹底に向けた取り組みを強化しつつ、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に則った就業を推進してまいります。

一人でも多くの会員の“生きがい”や“健康維持”につながるよう「はたらく場」「まなびの場」「つどいの場」を充実し、魅力あるセンターとなるよう役職員が一丸となって事業を展開してまいります。

### 【事業計画】

- 1 会員の拡大
- 2 就業の場の確保
- 3 安全・適正就業対策の推進
- 4 運営体制の強化・充実

### 【第3次中期計画における目標数値】

会員数	就業率	契約金額	
4,980人	80.4%	受託事業	1,593,000千円
		派遣事業	156,000千円
		合計	1,749,000千円

注：「就業率」の数値は、受託事業と派遣事業の合計数値です。

## II 事業実施計画

### 1 会員の拡大

さまざまなセンター活動を通じて健康を維持し、いつまでもいきいきと活躍できる場を充実させ、仲間を増やします。

- (1) 「もっと輝け♥シルボンヌ〜<sup>ジェイケイフォー</sup>J K 4 計画〜」のスローガンのもと、女性会員の拡大を推進する。

※JK4計画とは“女性（J）会員（K）比率（4）割を目指そう！”とする計画の略語です。

- (2) 「つどいの場」を充実させるため、地域班・ボランティアグループ・親睦互助会と連携した、だれもが参加できる場所づくりを検討する。
- (3) センター事業の周知とイメージアップのため、効果的なPR活動を行う。

### 2 就業の場の確保

一人でも多くの会員の希望に沿った就業提供に努めるほか、発注者の多様なニーズに対応できる体制を整えます。

- (1) 就業の場を増やすため、会員の希望に沿った就業開拓を実施し、受託事業と併せて、シルバー派遣事業の拡大に努める。
- (2) 発注者への迅速な対応を図るため、人手が不足している職群の就業会員増強に努める。
- (3) 会員の資質向上やスキルアップを図るため、各種研修会を実施し、より多くの会員の就業につなげる。

### 3 安全・適正就業対策の推進

就業中の事故「ゼロ」を目指すとともに、適正で公平な就業を推進します。

- (1) 就業中の事故を減らすため、事故の多い職群を対象に安全指導を強化する。  
また、全会員の安全意識を高めるため、事故の未然防止に向けた情報提供に努める。
- (2) 会員の身体的能力向上と交通事故防止を図るため、各種研修会を開催する。
- (3) 「適正就業ガイドライン」に沿ったセンターの働き方について継続的に周知する。

### 4 運営体制の強化・充実

さまざまな環境の変化に対応し、社会の期待にも応えられるよう、組織や財政基盤の安定に努めます。また、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づく会員組織となるよう組織や体制を充実させます。

- (1) 会員のデジタル化を推進するため、センター会員専用 WEB サイト “Smile to Smile” の登録促進と情報提供を強化する。
- (2) 会員の就業の場とセンターの自主財源を確保するため、指定管理業務の受注の獲得に努める。
- (3) 第3次中期計画（令和5年度～9年度）の中間年度にあたり、更なる運営体制の充実を図るため、必要に応じて目標値等の見直しを行う。

